



# 若い群像

春とはいっても、外にはまだ雪が  
いっぱい、寒気が肌をつく。

しかし、このビニール・ハウスの  
中の温度は約三十度、留萌地方  
の真夏を思わせる暑さ。

渡辺隆一君は、市内春日町で、  
そ菜農業に精を出す「渡辺農園」  
の二世です。

そ菜農家の一年は、一月初めか  
らの土床造りから始まり年中無休  
真冬の寒さやしばれに、一定の  
温度を保つため、夜中に飛び起き  
たり、苗を病気から守るための薬  
剤を散布したりで、いつでも神経  
をつかい、頭から離れることがな  
いという。

渡辺君が、この道に入ってから  
もう五年にもなる。

今では、お父さんと二人でそ菜  
についての将来の夢、近代経営な  
どについても語りあうまでになっ  
たという。

現在、栽培している主な物はト  
マトであり、やがて実をつけ、赤  
く色づく六月上旬には、市場に初  
出荷される。

それまで、まだまだ渡辺君の苦  
労は続く。

広報

若い群像

'73

4

月号

第181号